学校番号	1004

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典講読	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「古典探究　古文編」「古典探究　漢文編」（大修館書店）						
副教材等	「新訂版　正しく読み・解くための力をつける古典　ステップ２」（数研出版株式会社）、「古典常識も学べる　新明説総合古典文法」（尚文出版株式会社）、「わかる・読める・解ける　ＫｅｙＰｏｉｎｔ　古文単語３３０　四訂版」（株式会社いいずな書店）、「漢文学習必携　三訂増補版」（株式会社啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「古典探究」で身に付けた力を基礎に、より本格的な古文・漢文を数多く読むことで、現代まで受け継がれてきた言語文化への理解をさらに深めるための科目です。
・古文、漢文の背景にある歴史、時代背景、関連する他の作品など、様々なつながりを意識しながら読解を深めていきましょう。
・話し合いや文章記述、相互評価など、課題に対して自ら考え、周りの人と協働しながら考える活動を取り入れた授業を行います。
・単元の学習に入る前に、初読テストを行います。予習として必ず本文を読んでおきましょう。
・初読テストで、自分の読解の弱点を確認しましょう。授業中には弱点克服を念頭に、ノート作成に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、適切に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	古典に表れている、人間、社会、自然などに対する、ものの見方、感じ方、考え方にある、現代と共通するものや、現代とは異なる古文特有、あるいは、漢文特有の世界との関わりの中で、深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	生涯にわたって古典に親しむことで自己を向上させるとともに、我が国の歴史の中で創造され、継承されてきた文化的に高い価値をもつ言語を用いた文化的な言語生活を理解し、尊重し、自らが発展させていく担い手としての自覚を持ち、言語を用いて他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌に込められた思いを読み味わう ［教材］ 『伊勢物語』初冠・月やあらぬ	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：和歌の修辞・表現、作品の場面や背景から和歌に込められた意図や感情を読み取り、自己の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	さまざまな人間の姿に触れる1 ［教材］文章 楚辞、陶淵明集、古文真宝、唐宋八家文	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b［ 読 ］：作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 c：内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを深めようとする。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	古人の無常観に触れる ［教材］随筆 『方丈記』行く河の流れ・花は盛りに 『玉勝間』兼好法師が詞のあげつらひ	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：比べ読みをして、批判的なものの見方について理解を深めるとともに、自分の意見を説明できるようにする。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	詩にうたわれた情景を読み味わう ［教材］韻文 漢詩	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b［ 読 ］：人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているのかをとらえるとともに、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容と変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付き、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
2学期	物語世界を読み味わう ［教材］ 『大和物語』をばすて	a：登場人物の人物関係を整理し理解するとともに、作者である紫式部や文学史、敬語や文法を理解している。 b［ 読 ］：重要な語句や表現を調べ、登場人物の人間関係を理解し、心情の変化を的確に理解するとともに、これまでに編まれた優れた現代語訳も味わっている。 c：c：内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを深めようとする。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	物語世界を読み味わう ［教材］ 『干宝』	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b［ 読 ］：作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 c：内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを深めようとする。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	歴史的な事実と比較しながら、物語を解釈する	a：文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	ワークシート	ワークシート 定期考査	ワークシート

	［教材］ 『平家物語』忠度都落ち・能登殿最期	b［ 読 ］:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを深めようとする。	定期考査 小テスト		ノート
	普遍的な人間性を語る論法に触れる ［教材］孟子　荀子	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b［ 読 ］:文章に表れているものの見方、考え方を踏まえ、人間、社会にたいする自分の考えを広げたり、深めたりしている。 c:思想を理解し、人間存在についての考察を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
3学期	言動の記録をたどり、人物像をとらえる ［教材］史伝 史記	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b［ 読 ］:文章から人物の行動と心情を読み取り、人物像や行動を的確に理解している。 c:紀伝体による『史記』に描かれた漢楚の興亡や、作者である司馬遷について興味を持ち深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	日記文学に触れ、現代にも通じる心を理解する ［教材］日記 『土佐日記』羽根 『十六夜日記』駿河路	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やしている。 b［ 読 ］:先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 c:文章に表れている人物の心情を表現に即して読み、作者の身に起こったことや、創作物に興味を持ち調べようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ［　］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間